

「第8期米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」 の進捗状況について（令和5年度）

介護保険制度の円滑な運営

(1) 第1号被保険者数

第1号被保険者数(65歳以上)については、計画上の推計値では令和5年度は43,290人としており、実績値が推計値を479人上回っています。

令和5年度の第1号被保険者数の伸び率は0.15%となっており、令和4年度末と比較し、66人増加しています。また、令和6年3月31日現在の住民基本台帳上における65歳以上の人口は42,999人で、全人口に対する割合(高齢化率)は29.83%となっています。

年 度	計画値	実績値
令和5年度	43,290人	42,811人
令和4年度	43,124人	42,745人
令和3年度	42,961人	42,773人

(2) 認定者数

要介護認定者数については、計画上の目標値は8,961人、認定率は20.7%としていましたが、令和6年3月末現在8,976人、認定率は20.97%となっています。

令和5年度の認定者の伸び率は1.68%で、前年度より148人増加しており、認定率は0.32ポイント増加しています。

年 度	認定者数及び認定率	計画値	実績値
令和5年度	認定者数	8,961人	8,976人
	認定率	20.7%	20.97%
令和4年度	認定者数	8,814人	8,828人
	認定率	20.4%	20.65%
令和3年度	認定者数	8,724人	8,802人
	認定率	20.3%	20.58%

(3) 介護保険サービスの総支給費

令和5年度の介護給付費の伸び率は2.96%となり、全体として増加傾向にはあるものの、計画値に対する実績値比率は95.20%となり、計画値を下回る結果となりました。これは、居宅サービス費や地域密着型サービス費が計画値ほど伸びなかったことによるものと考えられます。以下には、居宅サービス費、地域密着型サービス費、施設サービス費についてその内訳を記載しています。

年 度	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
区 分	計画値(千円)	実績値(千円)	計画値(千円)	実績値(千円)	計画値(千円)	実績値(千円)
総給付費	14,382,415	13,692,102	14,107,194	13,298,474	13,638,475	13,194,884
居宅サービス費	6,279,049	5,881,040	6,184,497	5,672,815	6,083,772	5,820,075
地域密着型サービス費	3,619,623	3,320,502	3,438,954	3,316,286	3,298,561	3,220,024
施設サービス費	4,483,743	4,490,560	4,483,743	4,309,373	4,256,142	4,154,785

(4) サービス別給付費等の見込み

i) 居宅サービス費

居宅サービス費については、訪問介護、訪問看護等の訪問系のサービスが増加傾向にあります。また、コロナ禍に減少傾向のみられていた通所介護や通所リハビリテーション等の通所系のサービス利用が回復傾向にあり、居宅サービス費全体の実績値は計画値を下回るものの、緩やかに増加しています。

年 度	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
区 分	計画値(千円)	実績値(千円)	計画値(千円)	実績値(千円)	計画値(千円)	実績値(千円)
居宅サービス費	6,279,049	5,881,040	6,184,497	5,672,815	6,083,772	5,820,075
訪問介護	976,506	1,025,369	961,123	979,388	945,216	975,916
訪問入浴介護	18,122	27,470	16,926	23,032	16,916	24,103
訪問看護	368,199	435,125	361,382	390,312	353,959	380,427
訪問リハビリテーション	184,917	180,578	181,659	165,412	179,884	154,665
居宅療養管理指導	95,279	113,530	91,332	105,203	88,191	95,385
通所介護	1,332,070	1,027,542	1,326,844	1,023,623	1,329,928	1,100,789
通所リハビリテーション	1,003,454	819,315	1,000,801	776,017	973,747	858,188
短期入所生活介護	259,383	229,098	254,844	230,217	250,054	243,131
短期入所療養介護 (介護老人保健施設)	46,925	38,507	43,093	41,527	43,070	57,798
短期入所療養介護 (介護療養型医療)	0	0	0	1,288	0	915
短期入所療養介護 (介護医療院)	0	0	0	0	0	0

福祉用具貸与	482,861	519,330	472,946	500,177	469,973	477,017
福祉用具購入	20,453	24,117	20,346	23,435	20,453	23,636
住宅改修費	49,835	40,063	49,121	40,357	48,344	41,426
特定施設入居者生活介護	810,029	769,225	789,367	753,929	762,176	780,087
居宅介護支援	631,016	631,771	614,713	618,898	601,861	606,602

ii) 地域密着型サービス

地域密着型サービスについては、第8期計画で見込まれた小規模多機能型居宅介護、認知症対応型居宅介護等の新規施設が開所した一方で、地域密着型介護老人福祉施設は計画された整備を行うことができませんでした。地域密着型サービス費全体の実績値は計画値を下回るものの、緩やかに増加する傾向となりました。

年 度	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	計画値(千円)	実績値(千円)	計画値(千円)	実績値(千円)	計画値(千円)	実績値(千円)
地域密着型サービス費	3,619,623	3,320,502	3,438,954	3,316,286	3,298,561	3,220,024
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	289,030	266,492	289,030	247,925	288,870	213,308
夜間対応型訪問介護	0	0	0	578	0	0
地域密着型通所介護	360,860	326,972	349,921	361,840	344,798	385,318
認知症対応型通所介護	164,659	155,908	161,983	166,182	163,234	187,305
小規模多機能型居宅介護	880,133	861,448	811,552	848,783	811,102	792,118
認知症対応型共同生活介護	1,121,608	1,146,208	1,121,608	1,085,243	1,051,251	1,039,071
地域密着型特定施設入居者生活介護	121,663	85,968	121,663	85,954	121,596	97,777
地域密着型介護老人福祉施設	348,852	271,052	250,379	264,307	250,240	262,026
複合型サービス(看護小多機)	332,818	206,454	332,818	255,474	267,470	243,101

iii) 施設サービス費

施設サービスについては、概ね計画値どおりに推移しています。介護療養型医療施設は令和5年度末で廃止されました。

年 度	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
区 分	計画値(千円)	実績値(千円)	計画値(千円)	実績値(千円)	計画値(千円)	実績値(千円)
施設サービス費	4,483,743	4,490,560	4,483,743	4,309,373	4,256,142	4,154,785
介護老人福祉施設	1,711,398	1,851,493	1,711,398	1,776,350	1,689,932	1,739,110
介護老人保健施設	2,246,277	2,209,871	2,246,277	2,210,642	2,245,032	2,181,226
介護療養型医療施設	4,152	22,305	4,152	20,885	4,150	14,567
介護医療院	521,916	406,891	521,916	301,496	317,028	219,882

(5)介護保険料収納率の向上

収納率向上に向けた取組として、早期からの納付勧奨を実施し、現年分については概ね計画値どおりとなりました。繰越分については、今後、さらなる滞納整理に取り組む必要があると考えます。

年 度		計画値	実績値
令和5年度	現年分	99.24%	99.37%
	繰越分	24.36%	18.00%
令和4年度	現年分	99.18%	99.27%
	繰越分	24.36%	18.85%
令和3年度	現年分	99.12%	99.22%
	繰越分	24.36%	21.49%

(6)ケアプランの適正化

介護保険制度の目的である「自立支援」を実現するため、本市に配属された介護給付適正化専門員によって自立支援の観点からケアプランを点検するとともに、適正なプラン作成ができるよう指導・助言を行いました。

包括支援センターにおいては、予防プランの適切な作成についてセンターごとに個別指導を行いました。また、居宅介護事業所及び地域密着型サービス事業所(小規模多機能型居宅介護・複合型サービス)についても全事業所のケアプランの点検を行いました。

年度	計画値	実績値
令和5年度	全事業所	全事業所の100% (52カ所)
令和4年度	全事業所の70% (42カ所)	全事業所の78% (47カ所)
令和3年度	全事業所の50% (30カ所)	全事業所の100% (60カ所)

(7)事業者への適切な指導・監査の実施

鳥取県と連携を図りながら適切な指導・監査を行いました。

年 度	計画値	実績値
令和5年度	35事業所	38事業所
令和4年度	35事業所	29事業所
令和3年度	30事業所	7事業所

その他の主な取り組み実績

○縦覧点検・医療情報との突合の推進

- ・診療報酬明細書の点検による介護事業所への過誤請求等の修正依頼
1, 829件 効果額 7, 617, 502円

○制度の普及啓発

- ・市報「広報よなご」における介護保険特集号の作成・配布(年1回)
- ・介護保険パンフレット「あんしん介護保険」の作成・配布
- ・広告付き無料冊子を活用した認知症ケアパス、介護保険事業所一覧表の作成・配布

○利用者負担軽減施策の啓発

- ・高額介護サービス費の勧奨・給付 給付実績 323,712,103 円
- ・社会福祉法人減免補助金 実施法人 5 法人 補助金額 6,123,061 円

○その他の取り組み

- ・介護認定業務分析データにより本市の認定調査結果を全国平均と比較・分析し、全国平均とのかい離等が認められないか確認を行った
- ・認定調査員を対象とした、調査技術向上に向けた e ラーニングや、オンライン研修の受講を実施

社会参加しやすい環境づくり

(1)介護支援ボランティア登録者数

介護支援ボランティアについて、令和5年度から登録の対象年齢を18歳以上とし、より多くの市民が地域づくりに参画し、地域全体で取り組めるよう事業の拡充を図りました。

年 度	計画値	実績値
令和5年度	120人	91人
令和4年度	110人	66人
令和3年度	100人	53人

(2)地域包括ケアシステムの充実

地域包括支援センターを地域包括ケアシステム推進の中核機関として位置づけ、各センターで地域の支援者・団体や他職種の専門職と連携しながら、地域包括ケアシステムの構築に向けた体制整備を図りました。

総合相談受付件数は増加しており、今後も地域包括支援センター活動の周知啓発及び関係機関との

連携強化を図っていきます。

区 分	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
地域ケア推進会議※2 地域ケア個別会議※3開催回数	114回	140回	131回
自立支援型地域ケア会議※4 開催回数	7回	4回	2回
総合相談※5受付件数	87,965件	84,481件	77,303件

※2 地域ケア推進会議・・・地域の高齢者を取り巻く諸問題や支え合いをテーマにした会議

※3 地域ケア個別会議・・・個別事例の課題検討を実施する会議

※4 自立支援型地域ケア会議・・・個別事例に対する多職種の専門的な視点に基づく助言を通じ、対象となる高齢者のQOL向上に加え、自立に資するケアマネジメントの視点や、サービス等の提供に関する知識・技術の習得を図るもの

※5 総合相談・・・地域に住む高齢者に関するさまざまな相談を、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするもの

その他の主な取り組み実績
<p>○民生委員の訪問活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしの高齢者等を民生委員が訪問し、必要に応じて地域包括支援センターや行政機関等と連携を行い、その後の見守りや支援活動を実施 <p>○事業者との連携による見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> 中山間集落見守り活動に関する協定書に基づき締結した事業者等からの通報により、市が警察等と連携して安否確認や緊急対応を実施 <p>○地域包括支援センターの機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 人員配置基準の見直しによるセンターの人員増を実施 地域包括支援センター運営協議会の開催 「米子市地域包括支援センター業務評価表」に基づく業務評価を実施 <p>《各センターにおける取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援事業者との事例検討会等、他職種との連携に向けた取組みを継続 地域のサービス事業所や専門職、民生児童委員等に対し高齢者支援に関する啓発活動の実施

健康で安心して暮らせるまちづくり

(1) 在宅生活を支援するサービスの充実

i) 軽度生活援助サービス

家事などな困難な在宅の一人暮らしの高齢者で非課税世帯の方を対象に、簡易な家事をシルバー人材センターに委託し、要介護者などの自立した生活を支援しました。

区 分	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
利用人数	106人	114人	127人

ii) 家族介護用品助成事業

要介護4又は5と認定された高齢者を在宅で介護している非課税世帯を対象に、紙おむつなど介護用品の購入に利用できるクーポン券を支給しました。

区 分	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
受給人数	72人	63人	64人

iii) 緊急通報装置貸出事業

一人暮らし高齢者などの緊急時の対応のため、緊急通報装置※6の貸出を行いました。また、令和5年度からは、認知症の人の見守り支援として、GPS 機器の購入・レンタルへの助成を行いました。(令和5年度補助件数 5件)

区 分	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
貸出台数	75台	75台	75台

※6 緊急通報装置・・・ボタンひとつで包括支援センターなど登録してある連絡先に自動的に緊急通報が発信できる機器

iv) はり・灸・マッサージ施術費助成

70歳以上の非課税世帯の高齢者を対象に、はり・灸・マッサージ施術費の一部を助成しました。

区 分	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
助成人数	19人	24人	20人

(2) 避難行動要支援者事業の実施

高齢者や障がい者等の災害からの逃げ遅れを防ぐため、避難行動要支援者名簿※7の整備と個別避難計画※8の作成を行っています。令和5年3月に「米子市避難行動要支援者名簿情報及び個別避難計画情報の提供に関する条例」を制定し、避難行動要支援者名簿の整備と市内13地区の個別避難計画作成を行いました。引き続き、災害リスクの高い地区から個別避難計画の作成を年次的に進め、防災訓練を行うことによって計画の実効性を検証していきます。

※7 避難行動要支援者名簿・・・避難行動要支援者の氏名・生年月日・連絡先・避難支援を必要とする事由等、各情報を記載した名簿。避難支援に際して必要な措置を実施するための基礎とするもの

※8 個別避難計画・・・名簿情報に加え、避難先・避難の際の支援者等を記載した、対象者ごとの避難計画。避難支援等を円滑に実施するためのもの

在宅生活に向けたサービスと資源づくり

(1)フレイル対策の推進

市民が日常的にフレイル予防に取り組むきっかけづくりとして、令和5年7月にフレイル予防アプリを公開するとともに、市内在住の65歳以上の方(要支援・要介護認定の者は除く)に案内状を送付し、フレイル度チェックを一斉に実施しました。

令和4年度に設置したフレイル対策拠点(3カ所)では引き続き、フレイル度チェックや「ふらっと、運動体験！！」及び情報発信を実施したことに加え、運動教室を市内公民館にリモートで配信することにより、身近に体験ができる環境を整えました。

また、地区担当保健師等の専門職によるフレイル予防の普及啓発、個別相談及びフレイル予防講話等も引き続き実施しています。

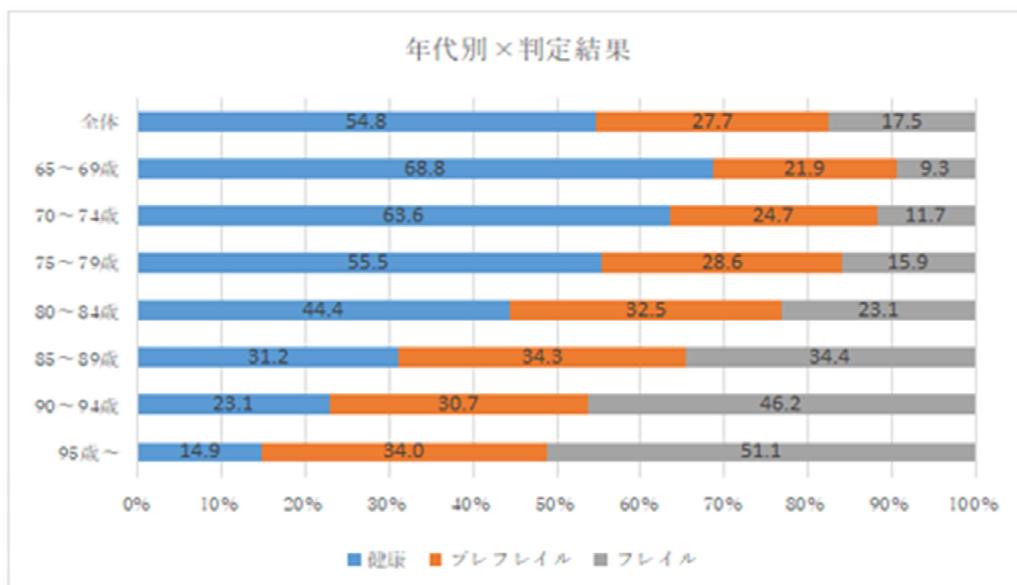
○フレイル度チェック

市内在住の65歳以上の方(要支援・要介護認定の者は除く)を対象に実施

- ・対象者数:35,491人(実施率:31.3%)
- ・実施状況

区分	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95歳 ～	合計
アプリ	596	363	230	61	32	5	0	1,287(11.6%)
事業所	178	414	509	461	244	50	13	1,869(16.8%)
チェック票	1,397	1,857	2,127	1,588	729	209	34	7,941(71.6%)
合計	2,171	2,634	2,866	2,110	1,005	264	47	11,097(100.0%)
実施率(%)	25.3	28.0	34.5	39.8	36.5	27.9	21.8	

・実施結果



年齢が進むにつれて「健康」の割合が低下していく傾向が顕著に表れました。また、80歳を超えると半数以上が「プレフレイル・フレイル」状態であることが分かりました。

○フレイル度チェック結果に応じた予防実践

・フレイル予防優待チケット

フレイル度チェックの結果が「健康」の方を対象に、市内フレイル予防応援事業所(フィットネス、カルチャースクール等)で特典が受けられる、フレイル予防優待チケットをお一人あたり6枚提供し、健康状態の維持に努める動機づけを行いました。

登録事業所数	電子チケット利用枚数	紙チケット利用枚数
25 か所	99 枚	1,189 枚

・フレイル予防実践教室

フレイル度チェックの結果が「プレフレイル」又は「フレイル」の方を対象に、運動・栄養・口腔・認知について学び、実践する3か月の教室を実施しました。

登録教室数	利用人数	延べ利用回数
17 か所	239 人	2,236 回

・フレイル予防実践教室移動支援

フレイル予防実践教室利用者のうち、必要な方に対し送迎を実施しました。

登録教室数	利用人数	延べ利用回数
11 か所	121 人	1,112 回

○ふらっと、運動体験！！

運動習慣のきっかけづくりとなる、「ふらっと、運動体験！！」をフレイル対策拠点（3か所）に加え、米子サン・アビリティーズでも実施しました。

・事業実績

開催場所		参加延人数	開催回数
拠点	Chukai コムコムスクエア	1,369 人	36 回
	白鳳の里（ゆめ温泉）	917 人	36 回
	弓浜老人福祉センター	1,223 人	36 回
サンアビリティーズ		853 人	27 回

○リモート運動体験

米子市フレイル対策拠点で行われている「ふらっと、運動体験！！」の内容を地区公民館等でリモート受信し、より身近な場所で運動教室を実施しました。

・事業実績

開催場所		参加延人数	開催回数
拠点	Chukai コムコムスクエア	752 人	47 回
	白鳳の里（ゆめ温泉）	733 人	47 回
	弓浜老人福祉センター	498 人	47 回
公民館（市内 29 か所）		2,032 人	260 回

(2) 自立支援、介護予防・重症化防止の推進

地域全体への介護予防・健康づくりに関する啓発、地域の通いの場の充実、多職種連携による取組を実施しました。

○健康づくり・やって未来や塾

地域において、住民主体で運動を行う等の取組に対し、活動支援を実施しています。会場によっては参加者が減ったり、各会場において実践している運動内容が効果的なのか不安に感じていることから、健康運動指導士等の専門家を派遣し、活動の活性化や質の向上を図るよう支援しました。

年 度	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
区 分	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
新規サークル活動数	3カ所	1カ所	2カ所	1カ所	2カ所	1カ所

○介護予防・生活支援サービス事業

介護予防・生活支援総合事業の対象者に訪問型サービスと通所型サービスを実施しました。

年 度	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
区 分	計画値(千円)	実績値(千円)	計画値(千円)	実績値(千円)	計画値(千円)	実績値(千円)
介護予防・日常生活総合事業	531,249	554,272	528,705	526,714	519,108	534,370

区 分	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
訪問型サービス延べ利用回数	40,249回	39,135回	39,131回
通所型サービス延べ利用回数	74,172回	68,429回	70,515回
通所型サービスB延べ利用回数	2回	—	—
通所型サービスC延べ利用回数	37回	102回	457回

○介護予防ケアマネジメント事業

要支援者等で予防給付によるサービスの利用がない、介護予防・日常生活支援総合事業の対象者が、住み慣れた地域で生活をおくることができるよう、地域包括支援センターが必要なサービスのマネジメントを行いました。

区 分	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
介護予防ケアマネジメント作成延べ件数	11,145件	10,998件	11,174件

その他の主な取り組み実績

○在宅医療・介護の連携推進

・エンディングノート(「もしものときの安心手帳」・「終活支援ノート」)配布部数 2,500部

○医療・介護等の関係職種間の顔が見える関係づくり

・西部圏域在宅医療・介護連携に係る意見交換会参加回数 9回

認知症になっても暮らしやすい地域と人づくり

(1) 認知症サポーター養成講座

小中高等学校で、認知症高齢者にかかる紙芝居等を活用しながら、若い世代の支え手としてのキッズサポーターを養成し、学校教育の段階から認知症への理解を深める講座を実施しました。

また、職場や専門学校、地域の集まり等に積極的に出かけて講座を実施し、多くの認知症サポーターを養成して、認知症を正しく理解し、支援する体制づくりに努めました。職場での講座では、若年認知症についての啓発を追加で実施し、より身近な課題としてさらなる理解に繋げました。

年 度	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
区 分	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
認知症サポーター養成講座受講者数	27,000人	22,775人	25,000人	21,711人	23,000人	21,084人

(2) 認知症予防事業

「認知症予防プログラム」教室を認知症の人と家族の会への委託により実施しました。

このほか、認知症の早期発見、早期対応のために、タッチパネル検査、公民館祭等の地区のイベントやサロン等で検査を実施しました。計画値と実績の乖離が大きいことから、事業内容や効果等について検証が必要であると考えています。

年 度	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
区 分	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
予防プログラム利用者数	110人	24人	100人	32人	90人	39人

区 分	令和5年度実績	令和4年度実績	令和3年度実績
タッチパネル検査等の数	564件	336件	334件

その他の主な取り組み実績

○認知症サポートチーム(認知症初期集中支援チーム)の配置

- ・認知症の人の介護者・支援者への支援として、必要な医療や介護の導入や家族支援等の初期の支援を包括的・集中的に行う認知症初期集中支援チームを各地域包括支援センターに設置し、認知症サポート医や作業療法士の協力を得ながら支援を実施

○認知症地域支援推進員の配置

- ・地域包括支援センター、ケアマネ等が、認知症の人及びその家族に対し円滑な支援を行うことができるように、医療・介護・地域支援サービスの連携を図る認知症地域支援員を配置

○認知症カフェの運営支援

- ・認知症の本人や家族等が交流し、専門職や地域とのつながりをつくる場として、米子市の委託による運営が3カ所、その他13カ所の合計16カ所に設置されている。地域住民への参加も募り、認知症を学ぶ場、相互扶助の輪を形成できる場作りを行った。

○認知症高齢者等事前登録制度

- ・認知症や障がい等が原因で行方不明になるおそれのある方を希望により事前登録を行った。

○認知症見守りGPS機器購入費等補助金

- ・令和5年度から、行方不明時の早期発見に役立つGPS機器の購入やレンタルに係る初期費用の助成(上限10,000円)を開始した。

○認知症見守りシール交付事業

- ・令和5年度から、行方不明時の早期発見に役立つ、2次元コードが記載された見守りシールを無償交付を開始した。